

2020年2月23日（日）

主 題：「整理ができる人は幸いです」

—謙遜に生きる—

テキスト：ヤコブの手紙1～5章（中心聖句4：10）

### はじめに

- ・私たちはヤコブの手紙を、2018年7月15日から、現在まで35回に分けて、学んできました。今日はその最終回で、総集編となります。
- ・皆さんは、ヤコブの手紙をとおして、何をこれまでに学ばれたでしょうか。ご自分で、しっかりと整理をしていただきたいと思います。この書簡は、創造神を信じるキリスト者がしっかり受け止めなければならない、大変大切なメッセージを伝えてくれたと思います。先ずヤコブはこう言いました。

#### ヤコブの手紙

2:17 同じように、信仰も行いが伴わないなら、それだけでは死んだものです。

- ・しかし一方では、伝道者パウロは、信仰は行いによるのではないと主張しました。ローマ人への手紙

3:28 人は律法の行いとは関わりなく、信仰によって義と認められると、私たちは考えているからです。

11:6 恵みによるのであれば、もはや行いによるものではありません。そうでなければ、恵みが恵みでなくなります。

- ・新訳聖書で、この二つが対比するかのようでした。確かに私たちは、はじめ矛盾を覚えたものでした。しかし、ヤコブの手紙を読み進んでいくと、それは矛盾ではなく、コインの裏表のように一对の関係であることを教えられました。したがって、パウロの教えも正しいし、ヤコブの教えも正しいことがわかりました。
- ・それでは、この書簡を通して教えられたことを、私は次のように整理したと思います。  
3点

### 大切なポイント

#### 1. 著者ヤコブはイエスの実弟であった

- ・マタイ福音書には、次のように書かれています。

13:55 この人は大工の息子ではないか。母はマリアといい、弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。

この手紙を書いたのは、イエス・キリストの兄弟でした。この1点だけでも、大きな特徴であると言えるでしょう。

- ・皆さん。少し想像してみてくださいませんか。ヤコブが幼少のころに、イエスとどのような生活をしていたかです。そして、成人してからイエスをどのように見ていたかです。想像するだけでも、興味は尽きませんね。少なくとも、ヤコブはイエスを救い主として

見ることや、信じることは先ずできなかつたと思います。

- 聖書は次のように記録しています。

13:57 こうして彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が敬われないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」

マタイ

- ヤコブもイエスにつまずき、冷たく見つめる1人だったかもしれませんが。しかし、彼は後にイエス・キリストの復活の事実に触れました。それによって、主に従う者に変えられたのでした。

### 1 コリント 15 章

15:7 その後、キリストはヤコブに現れ、それからすべての使徒たちに現れました。

- 生まれ変わったヤコブはエルサレム教会のリーダーの1人として活躍するようになりました。使徒の働き 15 章

15:13 二人が話し終えると、ヤコブが応じて言った。「兄弟たち、私の言うことを聞いてください。」

- こうした立場に置かれたヤコブが、この書簡を当時の同胞ユダヤ人クリスチャンに書き送りました。確かではありませんが、紀元60年ごろまでではないかと言われています。彼は最後に殉教の死を遂げたと言われます。著者ヤコブの特徴を、私はこのように上げることができるかと思います。

## 2. ヤコブが兄弟たちに教えたこと

- 「文は人なり」といいますが、ヤコブの手紙には、ヤコブが現れています。それはヤコブが育った厳格な宗教的環境と、救い主キリスト・イエスによって生まれ変わった事実が、あたかも相乗作用を起こしたような特徴で書かれているからです。
- それは現代の私たちにも、語り、また教えているところです。この書簡の特徴から、次の点を挙げてみましょう。3点

### 1) キリスト者は、自己チェックが必要である

- まず、この時代のことを考えてください。この時代はキリスト教会が、大きく揺れ動かされた時でした。約束の聖霊が下り、キリスト教会が誕生し、教会はまっすぐに前進するかのように見えました。現実には、さまざまな問題を抱える事態になっていました。
- その理由は、ユダヤ人は何千年もの長い年月、民族全体が律法の中で生きていたことにありました。
  - ① 一つは、キリストの福音によって、生まれ変わっても、すぐにもとのあり方に戻ってしまいそうになったことでした。
  - ② もう一つは、信じていれば、それでいいのだという、安易なあり方に陥る可能性があったことでした。
- ヤコブが「行い」を強調したことも、こういったことと決して無関係ではないと思います。このようなことは、内容は違っても、いつの時代でも、どんな民族のキリスト者にもある問題です。ですから、いつも自分をチェックして、健全なあり方で生きることを覚える必要があります。それが聖書的なキリスト者のあり方です。

- いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 2) キリスト者は、その信仰において実際的である

- ヤコブの手紙は、パウロと比較し、「行い」の信仰の強調にあると言われていいます。しかし、ヤコブが行いというとき、それは外側の行いということだけでなく、もっと内的なものを含んでいると思います。彼は実際的な信仰を説きました。
- ヤコブの信仰は、心の中においても、行いにおいても、いずれも実際化されなければ意味がないということを強調しました。彼は、この書簡で鋭く人の心にメスを入れたのでした。
- それはユダヤ人キリスト者にとって、心の中においても、行いや生活においても、福音に生きるという状態になることは、決して容易なことではなかったでしょう。ヤコブはその点を、熱心に説きました。
- 信仰が実際的であること、それはヤコブが強調したことでした。  
いかがでしょうか。私たちの信仰は、実際的となっているでしょうか。観念的、感情的、あるいは頭(知識)の信仰というレベルで、留まってはいないでしょうか。キリスト者は、自分の信仰を見つめるべきと思います。
- いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 3) キリスト者は、謙遜に生きるべきである

- ヤコブは、信仰の実際化というテーマの中で、とくに強調したのは「へりくだる」ということです。ヤコブは意識的に、信仰の「謙遜」を意識しました。  
4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。
- 4:17 こういうわけで、なすべき良いことを知っていながら行わないなら、それはその人には罪です。
- 皆さん。これは私たちもこの手紙から受け止めなければならないことと思います。このように考えてきますと、謙遜に生きるとはどういうことかを考えたいと思います。それが次の第3のポイントです。

## 3. 謙遜に生きるとは？

- ヤコブの手紙から、私は少なくとも次8つの点で謙遜に生きることを挙げたいと思います。

### 1) 試練のただ中での謙遜 1:1-18

1:12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いた人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けるからです。

- 試練を受けて、それを耐えるには、やはり謙遜とならなければ、耐えることはできない

でしょう。幸いなことは、試練を耐えて先にあるものは、「いのちの冠」というご褒美であります。

- ・キリスト者は魂の救いに与ったばかりでなく、天においてご褒美が待っているとあります。それは謙遜に生きる人の、主様からの報いでもあります。

## 2) みことばの前に謙遜 1 : 19—27

1:21 ですから、すべての汚れやあふれる悪を捨て去り、心に植えつけられたみことばを素直に受け入れなさい。みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。

1:22 みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となつてはいけません。

- ・アブラハムは、神のみことばを聞いた時に従順でした。神のみことばの前に、謙遜であることが従順な態度へと導きました。みことばの前に、謙遜であることが、従順な態度となりました。
- ・いかがでしょうか。私たちは、みことばの前に、どれほど謙遜であるでしょうか。

## 3) 隣人に対し謙遜 2 : 1—26

2:8 もし本当に、あなたがたが聖書にしたがって、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という最高の律法を守るなら、あなたがたの行いは立派です。

- ・隣人愛は、律法の中でも大切な教えの一つです。 マタイ福音書 22 章
- 22:36 「先生、律法の中でどの戒めが一番重要ですか。」
- 22:37 イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』
- 22:38 これが、重要な第一の戒めです。
- 22:39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。
- 22:40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」
- ・イエスは、「隣人愛は第2に大切」と教えました。
  - ・いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 4) 自分の言葉に対し謙遜 3 : 1—12

3:2 私たちはみな、多くの点で過ちを犯すからです。もし、ことばで過ちを犯さない人がいたら、その人はからだ全体も制御できる完全な人です。

3:8 しかし、舌を制することができる人は、だれもいません。舌は休むことのない悪であり、死の毒で満ちています。

- ・いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 5) 思いにおいて謙遜 3 : 13—18

3:14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや利己的な思いがあるなら、自慢したり、真理に逆らって偽ったりするのはやめなさい。

3:15 そのような知恵は上から来たものではなく、地上のもの、肉的で悪魔的なものです。

- ・ここでいう上からというのは、神からという意味です。

3:17 しかし、上からの知恵は、まず第一に清いものです。それから、平和で、優しく、協調性があり、あわれみと良い実に満ち、偏見がなく、偽善もありません。

これが、私たちの心の思いを分別するものです。

- ・いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 6) 主の御前で謙遜 4 : 1-17

4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

- ・この聖句はヤコブの手紙の、最も大切なみことばではないかと思います。
- ・いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 7) 再臨に備えて謙遜 5 : 1-12

5:9 兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。見なさい。さばきを行う方が戸口のところに立っておられます。

- ・いかがでしょうか？ 再臨信仰について、自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

## 8) 祈りにおいて謙遜 5 : 13-20

5:16 ですから、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。

- ・エリヤは私たちと同じ、普通の人でした。その普通の人が、あの大いなる神のわざを仰ぐことができた秘訣は、彼は「祈りの人」であったからでした。
- ・いかがでしょうか？ 自分(私)は、信仰を持ってはいるが、今どんな信仰の姿勢をとっているでしょうか。(自己チェックの必要)

\*このように、私は各章から教えられた点を8つ挙げました。皆様は、いかが でしょうか。自己チェックの必要です。ヤコブの手紙を学んで、どのように応答されるでしょうか。

## ま と め

主 題：「整理ができる人は幸いです」

—謙遜に生きる—

- ・ヤコブの手紙をまとめるにあたり、私は次の聖句で閉めたいと思います。

4:10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

\* God bless you !